



左から、野田、田坂氏、野呂

と。もちろん、その飛ばなきゃいけない満足感よりも広い狭いがあつて一般の方でもピヨ、人でも飛べない人もいるから概に演劇やっているやついる人とは言えないなどと思いますけど。結局やっぱりまちまちだし、そのままのリスクをもうひとと和らげできる方法がもうちょっとあれば、もう少し「ちやんちやん」とかなんという感じはしますね。

田坂：それは単純に来場者数の問題だけではなくて、やっぱり付箋で書き込みをするというところまで落としても、毎示されているものに新たに何かを加える・アイデアを付け足すっていうのは抵抗があることなんだなあと。これって既にあるものの形を変えるってことじゃないですか。そこのリスクを負うつていう難しさはあるんだなあとと思いました。人それぞれな部分もありますけど、演劇をやっている人間、例えば僕とかだとそういうリスクを負うっていうことに対して、演劇をやっている中である程度訓練されているところがあるので、あんまりそこをジャバ、アバと思っていないところがあるんで、ですが、やっぱり普通の人にとってはジャン

田坂：そうですね、欲を言えば、もうどちらがどちらやがっちゃするかなと思つて、いたのが思つたよりすつきりしてた点かな。

脚本家 建築家 アートディレクター
田坂哲郎 × 野田恒雄 × 野呂英俊

アートディレクター

野田…ざっくり、やってみてどうでしたか？
田坂…こんなに面白くなるとは思わなかつたですね。

な視点は初めてで、こんなに面白、なんだ
ということに関しては想定外な感じがしましたね。

野呂…そうですね。
野田…だから最終的にグラフィックで
造するっていうアウトプットにどうでは
ントが少なくて、本当の意味での未来

野呂：そうですね。2023年までを始まつた企画でしたよね。
想像してやつてみたりしたんですけど
結局今やつてある仕事の仕方と全然変わらなかつたな、という印象がありましたね。結局今のは仕事も、1年だつうが10年だつうが100年だつうが、その先を要はないものを想定して創っていく作業なので、結果、そんなに変わらなかつたなあ、と。

田坂：そうですね。ある意味総合的なアウトプットだと思うと、ちょっと難しかったかなと思いますね。

野田：事件とか出来事とかそつちの書き込みが大半でしたよね。『どうことは』、『どうワニクション』がいるんですね。

野呂：事件が前後にあるからこういふイベントがある、というクッションを挟んで構構ハーダールドが高くなつてくるんでしようね。

野田：グラフィックの展示をしようかと思うところから始まつた企画ですけど、野呂さん的に、この形態でやつてきてどうしようか、どうやって、見当の付かない

野田：あと実感として、イベントを自分が書き込むとそれがグラフィックになります」ということが、初見でいきなり来ちゃつかないで、イメージ

野呂：「へえー、みたいな感じで鵜呑みにしている人もいるだろう。」

田坂：実際、「2020年までの年表」を見ているのに2020年くらいのことを指して、これ本当のことですか?って言つてこられた方いますからね。

同：笑

田坂：知らんがな、つていう(笑)ある種年表、つていうもつともらしいフォーマンスとか口口とかチラシとかになってくると、確かに近いけど未来であることに変わりないですもんね。

野呂：ただ、やっている作業自体は一緒だつたけど、こちらが想定していたビジョンとかイメージに対して全然違うところから、出しが入ってくるのはすごい面白かったですね。



野呂：ただ、わからない部分もありますよね。例えば3分の1が本物で3分の1が嘘の年表が過去にな書かれていたらそれをどう見るのか、というのも見てみたかったのですよね。

野呂：もしかしたら今回の年表が、本当が多いから信じたのではないか、とか。例えば嘘の割合が何割くらいまでと過去のやつは、基本は「そうだった」と嘘と判断するのか。世界とか日本とか過去のやつは、基本は「そうだった」と振り返つてみるわけじゃないですか。

野田：確かに、映画にしろ演劇にしろ本当にドキュメンタリーではなくて誰かを当のドキュメンタリーではなくて誰かをモーテルにした伝記的な扱いのものもそうですが、どうまでが本当の事実に基づいてる設定でどこまでが嘘なのかっていうのは、ある定の範囲を超えるとみんな途端にこれはちょっと全体的に作りだよねって思つようになるのかな。

野呂：織田信長とか過去の本当にたった人物の名前が出てるだけで、なんどなく本当の歴史上のストーリーだと思いがちだけど、実際それって絶対作つてるわけじゃないですか。だけそれが織田信長じゃなく全然知らない無名の架空の名前で過去の歴史をさかのばつても多分誰も信用しないという部分もありますよね。

野田：演劇の芝居を作る時つて、その辺のバランスって考えたことがありますか？

アリティを持たせるつて意味なんでしょうか。

田坂：そもそも演劇の場合はやっぱり結構あるとこそこそを前提として作るから、あんまりアリティを持たせるつて考えたことはないですね。ただ、逆の意味で例えばホラー映画は有名な女優さんとかを起用するよりも知らない人が出てる方が怖い、というのがありますよね。

野田：あー、なるほど。

田坂：有名な女優さんを起用しちゃうと、それが虚構だつてばれちゃう。

野田：そんな風にしてホラー映画を観たことなかったな。確かにホラー映画に有

名人でこないですね。

田坂：演劇におけるアリティってのは難しいですけど……

野田：でも今の話だと、ホラーとか演劇の依頼も撮影だと、インスタ風に撮つて欲しいとか、素人風に撮つてくださいというのがありますね。

野田：僕の場合、素人風に設計していく

ださい、とかは無理ですけどね（笑）

田坂：演劇におけるアリティってのは

難しいですけど……

野田：でも今の話だと、ホラーとか演劇の脚本の設定に応してこうこうこうこう人を入れると本物っぽくなる。逆に有名人使うと虚構がばれちゃうみたいなのは、話の内容とも関わってくるのがな。

野呂：今回の国案史の年表でそれがどうだったのかというのは検証すると面白いかもしれないですよね。それが本当にどうが嘘に見えるのがみたい。

田坂：嘘の方が多い過去年表つて、もし

かしたら面白かったかもしないですね。

これ、もしくはこうこうこうこう、明らかに嘘どうのも入れておいて。

野田：嘘が混じっていますではなくて

この年表は基本嘘です。でも本当がどこにあります。の方がもしかしたら見る人の気持ちが逆転したかもね。

野田：確かに、映画にしろ演劇にしろ本当に

ドキュメンタリーではなくて誰かを当のドキュメンタリーではなくて誰かを

モーテルにした伝記的な扱いのものもそうですが、どうまでが本当の事実に基づいてる設定でどこまでが嘘なのかっていうのは、ある定の範囲を超えるとみんな途端にこれはちょっと全体的に作りだよねって思つようになるのかな。

野呂：織田信長とか過去の本当にたった

人物の名前が出てるだけで、なんどなく

本当の歴史上のストーリーだと思いが

ちだけど、実際それって絶対作つてるわ

けじゃないですか。だけそれが織田信長

じゃない全然知らない無名の架空の名前

で過去の歴史をさかのばつても多分誰も

信用しないという部分もありますよね。

野田：確かに、映画にしろ演劇にしろ本当に

ドキュメンタリーではなくて誰かを当の

ドキュメンタリーではなくて誰かを

モーテルにした伝記的な扱いのものもそう

ですが、どうまでが本当の事実に基づ

いてる設定でどこまでが嘘なのかとい

うのは、ある定の範囲を超えるとみんな途端にこれはちょっと全体的に作り

だよねって思つようになるのかな。

野呂：織田信長とか過去の本当にたった

人物の名前が出てるだけで、なんどなく

本当の歴史上のストーリーだと思いが

ちだけど、実際それって絶対作つてるわ

けじゃないですか。だけそれが織田信長

じゃない全然知らない無名の架空の名前

で過去の歴史をさかのばつても多分誰も

信用しないという部分もありますよね。

野田：確かに、映画にしろ演劇にしろ本当に

ドキュメンタリーではなくて誰かを当の

ドキュメンタリーではなくて誰かを

モーテルにした伝記的な扱いのものもそう

ですが、どうまでが本当の事実に基づ

いてる設定でどこまでが嘘なのかとい

うのは、ある定の範囲を超えるとみんな途端にこれはちょっと全体的に作り

だよねって思つようになるのかな。

野呂：織田信長とか過去の本当にたった

人物の名前が出てるだけで、なんどなく

本当の歴史上のストーリーだと思いが

ちだけど、実際それって絶対作つてるわ

けじゃないですか。だけそれが織田信長

じゃない全然知らない無名の架空の名前

で過去の歴史をさかのばつても多分誰も

信用しないという部分もありますよね。

野田：確かに、映画にしろ演劇にしろ本当に

ドキュメンタリーではなくて誰かを当の

ドキュメンタリーではなくて誰かを

モーテルにした伝記的な扱いのものもそう

ですが、どうまでが本当の事実に基づ

いてる設定でどこまでが嘘なのかとい

うのは、ある定の範囲を超えるとみんな途端にこれはちょっと全体的に作り

だよねって思つようになるのかな。

野田：織田信長とか過去の本当にたった

人物の名前が出てるだけで、なんどなく

本当の歴史上のストーリーだと思いが

ちだけど、実際それって絶対作つてるわ

けじゃないですか。だけそれが織田信長

じゃない全然知らない無名の架空の名前

で過去の歴史をさかのばつても多分誰も

信用しないという部分もありますよね。

野田：確かに、映画にしろ演劇にしろ本当に

ドキュメンタリーではなくて誰かを当の

ドキュメンタリーではなくて誰かを

モーテルにした伝記的な扱いのものもそう

ですが、どうまでが本当の事実に基づ

いてる設定でどこまでが嘘なのかとい

うのは、ある定の範囲を超えるとみんな途端にこれはちょっと全体的に作り

だよねって思つようになるのかな。

野田：織田信長とか過去の本当にたった

人物の名前が出てるだけで、なんどなく

本当の歴史上のストーリーだと思いが

ちだけど、実際それって絶対作つてるわ

けじゃないですか。だけそれが織田信長

じゃない全然知らない無名の架空の名前

で過去の歴史をさかのばつても多分誰も

信用しないという部分もありますよね。

野田：確かに、映画にしろ演劇にしろ本当に

ドキュメンタリーではなくて誰かを当の

ドキュメンタリーではなくて誰かを

モーテルにした伝記的な扱いのものもそう

ですが、どうまでが本当の事実に基づ

いてる設定でどこまでが嘘なのかとい

うのは、ある定の範囲を超えるとみんな途端にこれはちょっと全体的に作り

だよねって思つようになるのかな。

野田：織田信長とか過去の本当にたった

人物の名前が出てるだけで、なんどなく

本当の歴史上のストーリーだと思いが

ちだけど、実際それって絶対作つてるわ

けじゃないですか。だけそれが織田信長

じゃない全然知らない無名の架空の名前

で過去の歴史をさかのばつても多分誰も

信用しないという部分もありますよね。

野田：確かに、映画にしろ演劇にしろ本当に

ドキュメンタリーではなくて誰かを当の

ドキュメンタリーではなくて誰かを

モーテルにした伝記的な扱いのものもそう

ですが、どうまでが本当の事実に基づ

いてる設定でどこまでが嘘なのかとい

うのは、ある定の範囲を超えるとみんな途端にこれはちょっと全体的に作り

だよねって思つようになるのかな。

野田：織田信長とか過去の本当にたった

人物の名前が出てるだけで、なんどなく

本当の歴史上のストーリーだと思いが

ちだけど、実際それって絶対作つてるわ

けじゃないですか。だけそれが織田信長

じゃない全然知らない無名の架空の名前

で過去の歴史をさかのばつても多分誰も

信用しないという部分もありますよね。

野田：確かに、映画にしろ演劇にしろ本当に

ドキュメンタリーではなくて誰かを当の

ドキュメンタリーではなくて誰かを

モーテルにした伝記的な扱いのものもそう

ですが、どうまでが本当の事実に基づ

いてる設定でどこまでが嘘なのかとい

うのは、ある定の範囲を超えるとみんな途端にこれはちょっと全体的に作り

だよねって思つようになるのかな。

野田：織田信長とか過去の本当にたった

人物の名前が出てるだけで、なんどなく

本当の歴史上のストーリーだと思いが

ちだけど、実際それって絶対作つてるわ

けじゃないですか。だけそれが織田信長

じゃない全然知らない無名の架空の名前

で過去の歴史をさかのばつても多分誰も

信用しないという部分もありますよね。

野田：確かに、映画にしろ演劇にしろ本当に

ドキュメンタリーではなくて誰かを当の

ドキュメンタリーではなくて誰かを

モーテルにした伝記的な扱いのものもそう

ですが、どうまでが本当の事実に基づ

いてる設定でどこまでが嘘なのかとい</